



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2011～12年度テーマ

プロバスだより

第192号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集・発行：情報委員会

2011年11月10日発行

創立 15 年余、会員の努力で培ってきた叡智を、

次のステージで躍進の糧としよう

第192回例会

日 時：平成 23 年 10 月 13 日(木) 12:30～14:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：66 名 欠席者 5 名 出席率 93.0 %

(会員総数 71 名 休会 0 名)

1. 開会 有泉例会委員長の司会で開会



本日の資料の紹介と出席状況報告があった。

2. 会食

3. ハッピーコイン披露

佐々木会長よりハッピーコイン披露合計 19 件。
(詳細別途掲載)

4. 佐々木会長挨拶



季節の変わり目ですが、皆様お元気で参加され、素晴らしい出席率になりました。

昨年の今頃は、創立 15 周年記念行事に向かって、会員一同、手分けして最終段階の調整、準備に走り回っていた時期でした。いうまでもなく、記念行事で掲げた「宇宙の未来の夢と努力と～21 世紀の青少年に送るメッセージ」というコンセプトが、今まさにスタートしようとしている八王子「宇宙の学校」の実践につながっているわけであります。

「宇宙の学校」は、関係の皆様の綿密、周到的な諸準備、各方面との折衝等が功を奏し、既に充分の手応えが感じられると伺っております。「案ずるよりも生むがやすし」といいますが、ここまできれば成功疑いなし、クラブの一段の発展のきっかけとなるものと思います。

10月3日に発表された9月の日銀短観によれば、東日本大震災で損害を受けた生産設備や物流が予想外に順調に復旧したこともあり、企業の景況感 は 3 ヶ月前に比べて大幅に改善したとのこと です。

しかし、欧州では、財政危機のギリシャをはじめ各国の政府債務の増大、金融機関の経営不安などを払拭できず、一方米国でも、失業率が高止まりするなど明るい展望が見えません。そこで投資家はユーロやドルを売って比較的安とされる円を買う動きに出るため、円高が進むと言う循環になっています。

このため、我が国の輸出産業の苦境が続くという展開になっていますが、基調的にわが国経済は、少子高齢化—人口減少が進む中で、財政の悪化が止まらないという状況に陥っているだけに、何とか早く改善の糸口を見出したいものです。

本日も、実りある例会にしましょう。

5. バースデー報告



10月のバースデー報告・カード贈呈。

今月は、矢島一雄、古川純香、戸田弘文、土井俊玄、立川富美代、小林時雄、岡本宝蔵、大野幸二、荒正勝(欠席)の9会員に、池田ときえ会員特製のバースデーカードを贈呈。池田会員は、会員夫々の個性にふさわしいメッセージを添えて

あるそうです。なお、先月お渡しできなかった野口浩平会員には、別途お届けいたしました。

6. 幹事報告 永井幹事



①有泉裕子会員が、10月1日の八王子市制施行記念式典において、生活安全功労者（八王子交通安全指導員）として表彰されました。おめでとうございます。

②11月の例会は野外研修ですので、ハッピーコインとバースデーカード行事は延期し、12月例会に2ヶ月分を併合させていただきます。

7. 委員会報告

(1) 例会委員会 有泉例会委員長

出席状況報告（前記のとおり）。

(2) 情報委員会 馬場委員長



①「プロバスだより」191号をお届けいたしました。編集は阿部幸子会員です。

②先月の例会でお願いしたHPのアンケートを、本日提出願います。

③先月お願いした8名の会員の方は、本日例会終了後に顔写真の再撮影を行いますのでよろしく。

④投稿を依頼した方：早めの提出をお願いします。

(3) 会員委員会 浅川委員長



①新会員推薦のお願い：会員数は適正数と考えている70名程度を維持したいと強く希望しています。当クラブに相応しい方、願わくば長く活躍できる方の推薦をお願いします。その際には当クラブのパンフレット（在庫あり）をご活用ください。

②当クラブに関してご意見をお持ちの方は、気軽に会員委員会にご相談ください。

③会員名簿記載事項に変更があれば申告をお願いします。

(4) 研修委員会 岩島委員長

①11月10日（木）の野外研修：53名出席の見込み。午前7時45分にJR八王子駅南口・元たましん前に集合。今回は名札は着用しません。



②先月の例会でお願いした出前講師関連アンケート「会員の知識、経験および趣味・特技について」を、本日提出願います。

(5) 地域奉仕委員会関連

・佐々木会長

「いちょうまつり祭典委員会副会長」の立場でお願いがあります。

11月19・20日に、“大正100年記念”というネーミングで「いちょうまつり」が行われます。今年は夏の「八王子まつり」が中止になったので一層盛り上げたいと考えております。例年、当クラブは「まつり」の運営に協力してきており、今年も会員の協力（C会場における受付・案内）をお願いします。これ以外にも当クラブからは8名の方（敬称略：塩澤、岡本、下田、八木、立川、廣瀬、宮城、荻島）が例年参加されています。

「いちょうまつり」は当クラブの大野聖二パスト会長の提案で1979年（昭和54年）にスタートしましたので、クラブとして協力しています。

甲州街道のいちょう並木を中心に開催されますが、関所オリエンテーリング、クラシックカー・パレード、など多数の催しが行われます。

・田中委員長



①会長からご紹介頂いた「いちょうまつり」の受付・案内要員として、各委員会から計12名（19・20日の午前、午後各3名）の参加をお願いしています。早急に出席者名簿を提出して下さい。

②生涯学習サロン：ほぼカリキュラムが決定し、講演要約を提出頂いている段階です。開・閉講式の講師について現在9件の候補から順次当たりながら選定を進めていますが、閉講式は、旭化成（株）の川島伸次氏にほぼ決めていきます。同氏は実業団駅伝における旭化成10連覇時の選手で、「ミスター駅伝」といわれ、後に東洋大学の陸上部監督として2008年には同大学を箱根駅伝の優勝に導きました。

(6)交流担当 山崎理事

先月の例会でご案内しました「関東中央地区プロバスクラブ交流会」(11月17日:八王子プロバスクラブ主催)の参加・不参加の申し込み締め切りは、本日です。提出をお願いします。

8. 八王子「宇宙の学校」報告

運営本部長 下山邦夫



①支援の会:本日登録を締め切らせていただきます。積極的な参加協力に感謝します。

②10月30日の開校式:備品の準備も整い、準備は順調に進んでいます。しかし、初めてのことなので緊張感を持って慎重に推進中です。

③お詫び:先月の例会で、開校式には多数の来場をお願いしますと申しあげましたが、後述のように事情が変わったために、皆様には「来場を我慢してください」と、お詫びしてお願いします。これは、応募者多数のために受講者を70組から80組に増やしたことで、他の「宇宙の学校」の実績では、開講式には親子2名以外の連れも予想され、5割増しとなる可能性があることが判明し、会場の定員255名に余裕がなくなったためです。因みに立ち見席はありません。

同じ理由で、当日現場で仕事を分担して頂く運営本部の方々も、会場には入れない可能性があることをご承知おき下さい。

9. 同好会報告

(1)お茶の会、歴史の会、写真の会、囲碁の会、麻雀クラブは特になし。

(2)ゴルフ同好会: (米林伸恭会員)



第22回のコンペ(兼忘年会)を11月24日(木)~25日(金)、都ゴルフ倶楽部にて行います。メンバー以外の参加も歓迎します。プレーのみも可。

(3)美術鑑賞の会: (池田ときえ会員)

①紹介:11月23日までの会期で、夢美術館で写真展「土門拳の古寺巡礼」が開催されています。ご覧になることをお勧めします。



②バースデーカード
関連:バースデーカード作成を始めさせて頂いて今年で丸3年になります。今月3枚目

を受け取られた方もいらっしゃると思います。私にとってこれ続けることは、私自身の健康の証ではありますが、受け取られる方にとっても同じだと思います。そこで、5枚集めていただいた方には嬉しいおまけを差し上げたいと思っています。更に10枚目にはもっと嬉しいおまけを差し上げることを考えています。これからもよろしくをお願いします。

10. その他



(1)渋谷会員

①「旅行クラブ」同好会の開設提案を山崎会員との連名で行います。本日の資料に興味・企画内容を記しています。また申込書を添付しましたので、多数の方の参加を期待しています。
②紹介:11月5日にクリエートホールにて、「辛亥革命100周年に考える」という講演があります。

(本号発行前なので、詳細省略)



(2)河合会員

希望者もおいでなので、「俳句の会」を作りたいと考えています。参加希望の方は、本日例会後に、当館1階にお集まりください。

11. 卓話

「海底ケーブル」の話・抄録

馬場 征彦



(ここで扱う海底ケーブルは通信ケーブル。他には電力ケーブルがある。)

序:1989年、ベルリンの壁崩壊に象徴されるとおり冷戦が終結しました。

一方1990年代初頭、米国はインターネットによる情報支配を冷戦後の戦略の一つに据え、軍事用通信として開発し一部

の研究部門において試用されていたインターネット技術を公開しました。その利便性によって、インターネット網は次第に全世界に拡大して行きました。

ほぼ時を同じくして「光デジタル通信」技術がブレークスルーし、膨大な情報を安価に伝送する技術が確立し、海底ケーブルにも応用されました。

この結果、大陸間は海底ケーブルで縦横に接続され、国際間の情報による交流が爆発的に増加しています。



日本近海の海底ケーブル敷設状況
(インターネットから：グーグル提供?)

1: 海底ケーブルの基礎知識

注：Gbps=Giga(10の9乗)bits per second
Tbps=Tera(10の12乗)bits per second

1) 日本の国際通信情報量

①2010年11月の推計(総務省データから)

- ・情報量：約500Gbps(前年比20%増)
- 内訳：IN；約70%、OUT；約30%
- 電話約3,000万回線以上の同時通話相当

②2005年11月の推計(同)

- ・情報量：約100Gbps(前年比60%増)
- 内訳：IN；約60%、OUT；約40%

③5年間で情報量5倍、情報の入超率拡大

④データの形態

- ・99%はインターネット経由。
- ・放送、電話、FAX等は1%以下

⑤現有の国際通信容量：10~15Tbps程度?

2) 国際通信の主役

- ・海底ケーブル：情報の99%を伝送。
- ・衛星通信、短波無線などは1%程度

3) 海底ケーブルの特徴

- ・大容量：1本当たり5~10Tbps級の容量
- 10年間で約1,000倍に拡大(推定)

- ・通信品質良(雑音・エコー・自然の影響小)
- ・遅延時間小、盗聴されにくい
- ・大幅なコスト低下：10年間でビット単価は1,000分の1に低下(推定)

- ・高信頼性：海底ケーブル寿命：25年以上
- ・光増幅器：64~128波の光を整形して、増幅する装置、海中約50km毎に設置
- ・設置環境：陸上~8,000mの深海

4) 海底ケーブルの事故(引き揚げて修理)

- ・地震、底引き網、船の碇、鯨等による事故

2: 海底ケーブルの最新事例(波長多重方式)

1) UNITY(太平洋横断ケーブル)

- ・運用開始：2010年春
- ・全長：9,620km
- ・接続地：千葉県千倉と米国ロサンゼルス
- ・伝送容量：最大4.8Tbps(IN/OUT双方)
- ⇒将来最大19.2Gbpsへ拡張可(推定)

2) ASE(Asia Submarine-cable Express)

- ・運用開始：2012年末
- ・総延長：7,200km
- ・接続国：日本、香港、マレーシア、シンガポール、フィリピン
- ・推定伝送容量：最大16Tbps(IN/OUT双方)
- ⇒将来最大40Tbpsへ拡張可(推定)

3: 今後の予測

1) 需要予測

- ①世界の国際通信量：年率約50%増
- 全世界：5年以内に100Tbps超へ(推定)

- ②増加の要因：巨大人口国の情報化進展、インターネットの帯域拡大、動画の拡大、ISP/データセンターの競争(国際間)

2) 海底ケーブル容量：陸上通信成果を追従

5Tbps⇒20Tbps⇒80Tbpsへと容量拡大

3) その先：光の無中継伝送(大陸間)?

4: Q&A

Q: 国際紛争やテロなどで海底ケーブルが破壊対象にならないか。

A: 可能性はあります。現に、最近地中海エジプト沖で海底ケーブルが不通となり、テロが疑われていますが詳細は不明のままです。常識的には、深海部分は接近困難であり、浅海部分は領海内であるため、対象になりにくいとは言えます。

12. プロバスソング斉唱

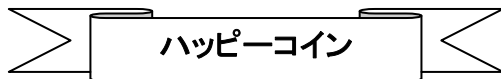
13. 閉会の挨拶 吉田副会長



本日は馬場会員が卓話で『海底ケーブル』の話をして下さいました。普段表に出ない事柄を分かり易く説明いただき有難うございました。

いよいよ宇宙の学校も今月 30 日から始まります。私ごとで恐縮ですが、先週土曜日に孫の幼稚園の運動会を見に行ってきました。園児 500 人程の規模ですが、先生方の用意周到な準備と園児たちの練習の賜物で、円滑に運営ができていました。その運動会を盛り上げたのが父兄の方々でした。熱心な応援、カメラやビデオでの子供さんの撮影、親子一緒に競技や昼食時の親子での食事等で親子の間の一体感が深まり、運動会の盛り上がりは素晴らしいものでした。

宇宙の学校が成功するか否かは、スクーリングでの親子の絆の盛り上がりによると思います。宇宙の学校に直接かかわられる運営本部の皆様は勿論のこと、その他の方々も、宇宙の学校での親子の一体感を醸成することに留意していただき、このプロジェクトを成功させたいものです。



◆「宇宙の学校」が、いよいよ開校式を迎えることとなりました。万歳。 下山邦夫

◆「宇宙の学校」が、無事開校できることを願って。 吉田信夫

◆「宇宙の学校」が、いよいよ活動開始。立ち上げに当たっての関係各位のご尽力に敬意を表し、又今後、少しでもお手伝いができることに感謝して。 田中信昭

◆10月9日、80代に突入しました。70代は老年青春しており、楽しく過ごしましたが、80代も元気で青春できればいいなあ！ 立川富美代

◆バースデーカード有難うございます。本日 10月13日はササン朝ペルシャの都ビシャプールに來ています。 荒 正勝

◆絵手紙が喜寿の幸せ届けてくれた。

ありがとう。感謝！！ 大野幸二

◆今月、誕生日です。これからもよろしくお願ひ致します。 戸田弘文

◆クラブに俳句の同好会をつくります。ご賛同の方は、例会後1階へお集まりください。

秋日和 いつかひと山 越えて来し 河合和郎

◆台風15号の被害で樹齢80余年の我が家の梅の木が倒れた。強風には勝てなかった。樹齢70余年の我々も気をつけねば・・・と夫婦の会話。

宮城安子

◆洪水被害のタイに10日滞在し、6日に無事帰国しました。チェンマイは線路が水没の為行けませんでしたでしたが楽しい旅でした。 野口浩平

◆週刊朝日のパズル脳力測定が好きで、毎週挑戦しています。認知症の予防になればいいのですが・・・ 阿部幸子

◆10月28日、予て念願しておりました日本楽壇における、私のカムバック第一声の演奏が行えることになりました。上野公園内、旧東京音楽学校演奏楽堂で、橋本国彦作曲「旅人の唄」を独唱します。平成21年6月、名眼科医のお陰で第四の人生を頂いて以来、最大の慶びです。内容については、配布させて頂いたコンサートのちらしをご覧ください。 山形忠顯

◆先日、ヴェルディの「レクイエム」をオリンパスホールで聞いてきました。すばらしかったです。

中野義光

◆麻雀クラブ、久しぶりに優勝。 山崎修司

◆結婚五十周年を記念して、念願の地中海クルージングをミュンヘンに住む娘家族と一緒に楽しんで来ました。 岩島 寛

◆孫娘が東京工専から「田中貴金属」に就職内定しました。快哉、快哉。 東山 栄

◆昨日、久々にゴルフ。痛めていた足腰も耐えてくれました。まだ頑張れそうです。 永井昌平

◆今年も3ヶ月経過。やっと軌道に乗って来ました。今後もスムーズな運営にご協力ください。

永井昌平

◆私が会長を務める町内会「北野グリーンヒル自治会」が、10月1日、「住民自治功労」の市長表彰を受けました。大したことはやっていませんが、身の丈に合ったことを地道に実行してきたことが、認められたものと思います。 佐々木研吾

私の仕事史 -4- (第183号より続く)

竹内 賢治



①「北陸繊維産業の大底」

長繊維産業にはかつて無かったメーカー・産地の操短で流れが変わってきました。

私は、当面大底と見て逆張りをと、積極的な転

換を図りました。前回に記した小規模機業場の設備更新です。設備更新の考え方を支店長・社内審査部・合織メーカー部長・銀行営業担当者等の18名に相談したところ、社内では支店長・審査部・帝人の原糸販売部長の3名から賛成を得ました。大半は反対をされましたがあえて実行しました。まず帝人の加工糸のC格糸を超格安で、帳簿上の量で一括買い取り、また、準備機も併せ買い付け総額4億円ほどになりました。しかし、世の中の市況回復は一向に見えず、逆張りは精神的にはつらい3ヶ月でした。しかし、翌年4月頃から産元商社も小機業場の設備更新を始めましたが、6ヶ年返済計画でした。当社は1年据え置き3年分割で、4年と6年の差は結果として開きは大きく小機業場の格差は大きく開きました。この時開発した商品は少品種・大量生産品で利益の確保は以外と早く実現できました。この時の開発品で、今でも生産が続けられている商品(ナイロンサリー)があります。

米国、欧州向けの高付加価値商品、中近東向けのサリー用の高級品、富士絹風の汎用品が大当たりし10名ほどの織物課は、2～3億円/年間の利益を計上出来るようになりました。

②「大阪での10年間」(1)

1973年4月大阪本社・合織長繊維産地織物課に転勤となり、福井・金沢支店の以外の取引先、及び新潟産地の取り扱いをすることになりました。

新潟(栃尾・見附)の産地は繊維産業構造改善投資が大きくその負担に耐えられず(債務保証先)返済条件変更申請が多数出てきました。債務

保証をした機業場をどう再建するか、転勤早々に決断が求められましたが、最初に依頼された機業場には2千万円の保証で、18百万円の残があり、返済猶予を求められました。先方の条件では35年かかることとなります。上順位の担保設定がありましたから、地元信用金庫に肩代わりをお願いし、価値のある担保を譲渡して決済しました。しかし、他の機業場からも次々と要求されましたが、取引銀行を巻き込んだ再建を図りましたが、見通しのつくまでには10年間を要しました。

如何に銀行と話を付けるか。北陸と違って、原料と製品決済は原則60日手形となっていました。資金繰りに苦しい先は期日を90日、120日と伸ばして来ていました。お互いが手形期日を延長しても利するところはありません。機業場を疑心暗鬼で見て、問題をいたずらに先延ばししても解決策にはなりません。

我社は原料を預け委託加工として、経営者の資金繰りを楽にし、商品開発と品質向上の努力を求めました。

銀行は手形発行を止め、当面必要な長期資金を貸し、銀行と我が社の管理を徹底しての再建を図りました。

各機業場の管理をする為に、栃尾に出張所を設け産地経験者を所長として駐在させました。我が社に取引が無くても色々な立場の人に来て頂くことで情報収集になります。まず、客が見えるたび美味しいコーヒー豆を挽きサービスをしたところ多くの情報が入り、結果として取引が増え、出張所の利益が大阪の織物課を上廻るようになりました。しかし、全てが順調ではありませんでした。10年間に2人の自殺者が出ましたが金銭的な被害はありませんでした。(つづく)

小さなミスがこんな事に

中野 義光



私事で申し訳ございませんが、小さなミスからとんでもない事になったお話です。私の実家(立川市)は築後180年ほど経っていて、住居と蔵が国の有形文化財に指定されており、

一般公開されているため、各方面から見学者が訪れています。

その主家の一室にある襖の8枚のうち4枚が、ある時、幕末の学者「佐久間象山」の書であると誰かが言い出した事から、立川市、三多摩の歴史関係の文章に載り、広範囲に知られるようになりました。

ある大学の教授は、「襖の文章は、雪が降っている冬の日、大勢で酒を酌み交わしている情景である。」とか、色々な意見が寄せられています。

(写真①参照)



写真①

襖の書については、身内に詳しい者もいませんでしたので、果たして「佐久間象山」のものか、テレビの鑑定団の何方かに判定してもらうことになり、昨年12月末、テレビ出演している書画にご堪能な安河内先生にお出でを頂き、鑑定を依頼しました。

その回答書が本年3月届きました。ところが判定結果は全く別人のものでした。

間違いの元は、書末に押印された文字を、当時は右から読み書きしていたものを、今流に左から読んでしまったことでした。

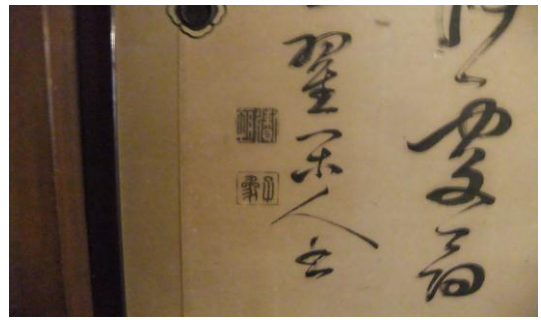
書いたご本人の名は「子象」であり、押印の右側の文字「子」を「山」と誤読したことによります。(写真②、③参照)

この方は、本名は「佐瀬得所(1833~1878)」といわれ、当時は書の名声高く会津第一の書家であったことが判りました。

襖としてはそれなりの価値はあるが、「佐久間象山」とは全く関係のないことがはっきりしました。

過日、プロバスクラブのお茶の会も、この蔵で茶会を行いました。その節、佐久間象山らしい説明をしたことにつきましては、知らぬこととは言いながら、事実が明らかになったことから、同

好会の皆さまには、この場でお詫び申し上げます。



写真②



写真③

私たちの役割

塩澤 迪夫



例会のラストは全員でプロバスソングが斉唱され、その中で最も心に響くのが「若者たちに今伝えよう」の一節です。私も会員として10年以上経過しておりますが、杉山前会長の下でプロバスクラブが平成22年度に、今まで実現できなかった青少年の健全育成事業に着手して、的川博士の講演会が実施され、今年「宇宙の学校」が開設されたことを心より喜んでおります。



私個人が関係している八王子市レクリエーション協会が、平成6年の文部科学省提唱に

基づいて、仲間と支える子どもの居場所[遊びの城八王子]を開設してすでに8年を迎えました。八王子市内の複数の小学校や近隣市町村小学校、児童館を中心として、年間30回のサタデースク

ールを開催する居場所「あそびの城八王子」では、既に科学実験教室や昔遊び、多彩なクラフト、伝承あそび、将棋、野外体験、ニュースポーツ等創意工夫あふれたプログラムを実践し、子どものみならず保護者にも地域にも好評です。私よりノウハウを受け継いだ青年達、大人達、高齢者もスタッフとして支えてくれています。



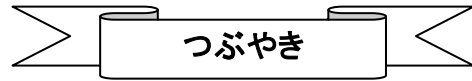
その目的は、私たち現役を離れた人たちが、こどもの成長に必要な社会のルール、少子化の中での仲間づくり、核家族の中での高齢者とのふれあいなど、いつでも、どこでも、誰でも、楽しく過ごせる“地域の居場所づくり”であり、私たちクラブに人材が求められます。



現在は、福祉の時代といわれ、子どものみならず高齢者、障害を抱えた方に全世界が、手を差し伸べ支えあって生きる時代になっています。その中でボランティア支援要請があり、60才以上のおじいちゃんの孫育ての講座、元気を取り戻そうニュースポーツ体験、野外体験、小学生の障害者とのふれあいボランティア活動体験等を手がけています。その原点は、子どもに遊びを教える人、遊んであげる人、アイデアを提供できる人、資金の支援をする人などであり、これらのことに必要とされる私たちでありたいものです。

八王子市では、現役を卒業した方に多くの講座が開設されていますが、以前[シニア元気塾]の講師を担当した時に、受講された方が「視野が狭かった自分に気づいたばかりでなく、如何に早く現役時代の姿や形を変えて地域社会に早く入れるか、心の切り替えが必要」と語られた事が印象に残っています。

高齢社会が進む世の中で、如何に短時間に社会にそれぞれが貢献出来るかは、個人差はあるものの、自分の硬さを除き、様々な人との交流をもってコミュニケーションをする事が必要だと思います。



八王子市には、大学が22校もあるのに、学生が市の中心街を歩いていない。もっと学生を呼び込めないかという声をよく聞く。中々名案がないのが現状である。

八王子市には、大学が広範囲に散在していて、通学にJR八王子駅を経由する学生が少ないこと。中央大学、首都大学、法政大学、東京家政学院大学等をはじめ、殆どの大学は京王沿線が多い。

約30年前であるが、市内の大学生100名を対象に、司会是新堀俊明氏のもと、小杉会館(現八王子エルシィ)で意識調査をした事があり、その結果を述べてみたい。

当時、八王子内に住んでいる学生は25%位で、75%は八王子市以外であった。その理由は、八王子市にはアルバイトをする所が少ない。学校に近いアパート、マンションでは、周辺の住環境が自分の田舎とさして変わらないし、また、学校に近いと学生の溜まり場になってしまう。東京という都会の雰囲気味わえない。4年間を有効に過ごしたい。この頃でさえも、アルバイト収入は月2~8万円であった。

以上が調査の主な結果であるが、今は、八王子市在住の学生は20%を切っているのではないかと思われる。学生が八王子駅周辺を利用するのは、コンパの時の飲食位のものである。(Y. N記)

編集後記：今まさに秋たけなわ。老若男女夫々が、この季節を満喫していることでしょう。一方では、ギリシャ問題をきっかけとして、世界中が騒がしく、あわただしい今日この頃です。世界の潮流の大変化の前触れなのかもしれません。

今月号編集担当の代役として急遽登板。時間確保に苦勞しつつも何とか編集完了。

馬場征彦